

- 1 特集 1 再生可能エネルギー等導入推進基金
- 特集 2 ぐんま緑の県民基金事業について
- 特集 3 群馬県希少野生動植物の種の保護に関する条例の概要
- 特集 4 渡良瀬川水質監視体制を強化しました

## 2 平成26年度に取り組んだ主な事業

- 第1章 地球温暖化の防止  
再生可能エネルギー等導入推進基金  
群馬県地球温暖化対策実行計画の改定
- 第2章 生物多様性の保全  
ぐんま緑の県民基金事業  
群馬県希少野生動植物の種の保護に関する条例の  
制定等
- 第3章 生活環境の保全と創造  
アスベスト飛散防止対策の強化
- 第4章 持続可能な循環型社会づくり  
3Rの推進
- 第5章 全ての主体が参加する環境保全の取り組み  
緑の少年団の活動とフォレストリースクール

## 3 平成27年度に取り組む主な事業

- 第1章 地球温暖化の防止  
燃料電池自動車（FCV）普及促進  
「ぐんまクールシェア2015」の実施  
再生可能エネルギー等導入推進基金
- 第2章 生物多様性の保全  
群馬県希少野生動植物の種の保護に関する条例の  
推進  
貴重植物群落保全施設整備  
ぐんま緑の県民基金事業
- 第3章 生活環境の保全と創造  
PM2.5の成分分析調査
- 第4章 持続可能な循環型社会づくり  
第二次循環型社会づくり推進計画の策定
- 第5章 全ての主体が参加する環境保全の取り組み  
森林ボランティア支援

# 特集1 再生可能エネルギー等導入推進基金

東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故を契機に、防災・減災への取組と、再生可能エネルギー等を活用した自立・分散型エネルギーの導入の推進が、国を挙げての課題となっています。

このため、環境省では、地方公共団体に「再生可能エネルギー等導入推進基金（通称：グリーンニューデール基金）」を造成するための補助金を交付し、避難所や防災拠点において災害等の非常時に必要なエネルギーを確保するための再生可能エネルギーや蓄電池等の導入を支援しています。

県でも、平成25年度に18億円の補助金を受けて造成した「群馬県再生可能エネルギー等導入推進基金」を活用して、平成27年度末までの3年間で、避難所や防災拠点となりうる公共施設に再生可能エネルギー発電設備及び蓄電池を導入し、地震や台風等による大規模な災害に備えるとともに、二酸化炭素の排出削減に取り組めます。

## 1 平成26年度までの導入実績

平成26年度末の時点で、県の公共施設17件、市町村の公共施設25件に再生可能エネルギー発電設備や蓄電池等の導入を決定しました。このうち17か所が平成26年度に稼働を開始しています。（表1-1-1）

表1-1-1 平成26年度導入実績

	箇所数	太陽光発電		蓄電池	
		導入箇所数	合計出力	導入箇所数	合計容量
県有施設	0	0	0kW	0	0kWh
市町村有施設	17	16	296.2kW	17	350.2kWh
合計	17	16	296.2kW	17	350.2kWh



前橋市東公民館

前橋市の東公民館では、太陽光発電設備と蓄電池のほか、地中熱ヒートポンプ（10kW×2台）を利用した空調設備を導入しました。年間を通して温度の変化が少ない地中の熱エネルギーを、夏は冷熱源、冬は温熱源として利用することにより、空調の電力使用量を約3分の2に削減。災害時においても必要最低限の電力消費で空調を稼働させることが期待できます。



上野村いこいの里

上野村のいこいの里では、出力71kWの太陽光発電設備と容量84.6kWhの蓄電池を導入しました。いこいの里は、村の保健・医療・福祉の関係機関が集中する施設であり、大容量の非常用電源を確保することにより、災害時においても、避難所・福祉避難所として、また医療・介護の拠点としての機能を維持することが期待できます。

## 2 平成27年度の執行計画

基金事業の最終年度となる平成27年度は、本年度予定していた事業に加え、前年度からの繰越事業もあわせて、表1-1-2のとおり全体で45施設に再生可能エネルギー発電設備や蓄電池等を導入します。

表1-1-2 平成27年度執行計画

事業費等内訳	箇所数	平成27年度事業費 (単位：千円)
再生可能エネルギー等導入推進基金事業		
1 地域資源活用詳細調査事業	—	400
2 公共施設再生可能エネルギー等導入推進事業		
① 県有施設	19	365,691
② 市町村有施設	26	889,522
合        計	45	1,255,613